

標 題 : Polyphenol intake from a Mediterranean diet decreases inflammatory biomarkers related to atherosclerosis : A sub-study of The PREDIMED trial
地中海食事由来のポリフェノール摂取はアテローム性動脈硬化に関連する炎症性バイオマーカーを減少させる : PREDIMED 試験のサブ研究

著 者 : A. Medina-Remón, et al. (スペイン バルセロナ大学 Institut d'Investigacions Biomèdiques August Pi i Sunyer (IDIBAPS) Hospital Clínic 内科)

掲 載 誌 : Br. J. Clin. Pharmacol. 2016 Apr 21. Doi: 10.1111/bcp.12986
[Epub ahead of print] [印刷に先立つ電子出版]

要 旨 :

背景と目的 : 高い食事性ポリフェノールの摂取は、総死亡率の低下および心臓血管系事象の低い発生率と関連する。

しかし、関与するメカニズムは完全には理解されていない。

PREDIMED(地中海食事による予防)試験のこのサブ研究の目的は、総尿ポリフェノール排泄で測定したポリフェノール摂取と血中の炎症性バイオマーカーおよび心臓血管系危険因子との関連を、高齢者で分析することであった。

材料と方法 : 高リスク参加者 1139 人のサブ研究を PREDIMED 試験の中で実施した。

被験者を、低脂肪の対照食事、またはエクストラバージンオリーブ油またはナッツを補給した 2 種類の地中海食事に、ランダムに割当てた。

食事摂取、身体計測、臨床評価および炎症性バイオマーカーと総尿ポリフェノール排泄を含む実験的評価を、開始時および 1 年間介入後に測定した。

結 果 : 総尿ポリフェノール排泄の変化が最高 (3 段階) の参加者は有意に低い血漿の炎症性バイオマーカー [VCAM-1 (-9.47 np/mL), ICAM-1 (-14.71 np/mL), IL-6 (-1.21 pg/mL), TNF- α (-7.05 pg/mL), および MCP-1 (-3.36 pg/mL)] を最低と比較して示した ($P < 0.02$, 全て)。

尿の総尿ポリフェノール排泄と VCAM-1 の血漿濃度との間に、有意な逆相関が存在した ($r = -0.301$; $P < 0.001$)。

さらに、尿の総尿ポリフェノール排泄の増加と平行して (最高と最低の比較)、収縮期および拡張期の血圧が低下して血漿 HDL コレステロールが上昇した (それぞれ $P < 0.005$ および $P = 0.004$)。

結 論 : 尿の総尿ポリフェノール排泄で測定したポリフェノール摂取の増加は炎症性バイオマーカーの減少と関連するので、ポリフェノールの用量依存性の抗炎症作用が示唆される。

さらに、高いポリフェノール摂取は心臓血管系の危険因子、主に血圧および脂質組成を改善する。

この論文は著作権で保護される。著作権所有。
